

	<p>で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 新聞記事を読み比べる活動や関連のある複数の本を読み友達に推薦する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、乗り物について調べカードに書いたり、書いたカードを友達と読み合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 3,4 学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、事例と筆者の考えの関係を確かめたり、文章を読み考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「つかむ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成に着目して筆者の説明の仕方を考えたり、資料の効果的な活用の仕方を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第 1,2 学年～ 第 1 学年で、出来事の順序を考えて話す活動、第 2 学年で、伝えたいことを選んで話の構成を考えて話す活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 3,4 学年～ 第 3 学年で、設定を生かし想像を広げて物語を書く活動、第 4 学年で、構成を考えて山場のある物語を書く活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 5,6 学年～ 第 5 学年で、意図を明確にしてインタビューをする活動、第 6 学年で、話し手の考えと自分の考えを比べる活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 13 教材、「書くこと」は 24 教材、「読むこと」は 19 教材であり、総ページ数は 310 ページで、前回より約 1 % 減となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 2 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 21 教材、「読むこと」は 12 教材であり、総ページ数は 342 ページで、前回より約 2 % 減となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 3 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 6 教材、「書くこと」は 19 教材、「読むこと」は 12 教材であり、総ページ数は 350 ページで、前回より約 4 % 減となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 4 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 17 教材、「読むこと」は 12 教材であり、総ページ数は 350 ページで、前回より約 2 % 減となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 5 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 16 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 303 ページで、前回より約 2 % 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 6 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 15 教材、「読むこと」は 11 教材であり、総ページ数は 303 ページで、前回より約 4 % 増となっている。(判型は B 5 判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 友達に好きな教科について伝える活動(第 1 学年)や身近な人に行事案内する手紙を書く活動(第 3 学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「こんな本もいっしょに」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされ</p>

	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けたい「言葉の力」を提示し課題を明確にしたり（全学年）、「ふり返る」で学習したことを確かめて成長を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 巻頭に「国語の学習の進め方」や「〇年で学習する言葉の力」を設け、年間を通して学習することを明確にしたり（第2～6学年）、シンプルなレイアウトや色使いにより、大事な情報に着目できるようにしたり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、第1学年から第5学年まで、学校図書館の利用方法について学習し、第6学年ではその学習を元に、地域の図書館を利用して、並行読書や発展的な読書などに活用できるように配慮がなされるとともに、美術館や博物館の活用も促されている。 ○ ICTの活用については、インターネットを活用した漢字や古典等の学習コンテンツが全学年にあり、第3学年以上は、URL、QRコード、「Dマーク」が教科書に掲載されており、児童がインターネットを活用して主体的に活用できるように配慮がなされている。 ○ 小・中連携については、第6学年において、学年末に「未来に向かって」の単元を設定し、小学校で身に付けた力の確認と中学校への意欲化を図ることができるよう工夫がなされているとともに、第5学年と第6学年は、学年1冊の教科書となり、中学校入学時の環境の変化へ対応できるように配慮がなされている。
本市児童の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を、その後の学習や生活で活用できるよう、単元末の「ふり返る」の中で、「言葉の力」としてその学習で身に付いた力を明示したり、学んだことを他教科・他領域に活用できる場面を「生かそう」として例示したりするなどの工夫がなされている。 ○ 目的に応じて、複数の資料から必要な情報を取り上げて書く力を育むことができるよう、複数の資料から情報を取り上げて報告文、意見文やポスター等を書く活動が設定されており、資料の読み方や、読み取ったことを図で整理する方法、考えの広げ方などを、カードの例や児童のつぶやきの例などを用いて示すといった工夫がなされている。 ○ 文章を根拠にして、自分の考えをまとめる力を育むことができるよう、単元冒頭で読む目的を明確にするとともに、思考の方法や流れを例や図で示す配慮がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙を豊かにし、表現力を高められるよう、巻末に「言葉の広場」（全学年）が設定されるとともに、各学年2回設定されている「言葉集め」（第2学年以上）で活用できるよう工夫がなされている。

観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	11・学図	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語 103, 国語 104 国語 203, 国語 204 国語 303, 国語 304 国語 403, 国語 404 国語 503, 国語 504 国語 603, 国語 604	みんなとまなぶしょうがっこうこくご一ねん上, 下 みんなと学ぶ小学校こくご二年上, 下 みんなと学ぶ小学校国語三年上, 下 みんなと学ぶ小学校国語四年上, 下 みんなと学ぶ小学校国語五年上, 下 みんなと学ぶ小学校国語六年上, 下
				<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ かぞえうたを通して数を表す漢字を書いたり読んだりする活動や、声に出して確かめながら言葉の音数やアクセントによる語の意味の違いに気付く活動</p> <p>第 3,4 学年～ 身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動や、ことわざや故事成語の意味を国語辞典で調べ昔から言い伝えられてきた言葉に触れる活動</p> <p>第 5,6 学年～ 漢詩の言葉の調子やリズムに親しみながら朗読したり暗唱したりする活動や、日常よく使われる敬語を理解し相手や場面に応じて使い慣れる活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 友達に伝えたいことを話す活動やグループで話し合っって考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 学級会で役割を決めて話し合う活動や互いの意見の共通点や相違点に着目する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 理由を明確にして自分の考えを提案する活動やパネルディスカッションを行う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 観察して気が付いたことを書く活動や二つのものを比べて分かったことを文章にまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 食べ物のお宝について調べて書く活動や紹介したいことについてチラシを作成する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 図表を使い調べたことをまとめる活動や構成を工夫して説得力が増す文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 役割を決めて劇をする活動や場面を分けて順序を確かめながら読む活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 物語の面白さから問いを作って感想を交流する活動や物語の内容や登場人物の魅力を紹介し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思</p>

	<p>いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 伝記を読み人物像を捉える活動や筆者の主張について友達と意見を共有する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「がくしゅうのてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、問いの文と答えを見付けたり、考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 3,4 学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、段落相互の関係を考えたり、文章を読み分かったことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、事実と意見との関係を押さえ要旨をまとめたり、考えたことを友達と伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第 1,2 学年～ 第 1 学年で、伝えたい事柄の順番を考えて話す活動、第 2 学年で、伝えたい事柄を行動したことや経験したことに基いて話す活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 3,4 学年～ 第 3 学年で、文章の構成を考えて報告する文章を書く活動、第 4 学年で、見学したことの中心を明らかにして新聞にまとめる活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 5,6 学年～ 第 5 学年で、意見や主張が読み手に伝わりやすい文章の構成を考える活動、第 6 学年で、複数の意見を基に説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 11 教材、「書くこと」は 22 教材、「読むこと」は 17 教材であり、総ページ数は 264 ページで、前回より約 1% 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 2 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 8 教材、「書くこと」は 16 教材、「読むこと」は 19 教材であり、総ページ数は 276 ページで、前回より約 5% 減となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 3 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 9 教材、「書くこと」は 20 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 306 ページで、前回より約 3% 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 4 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 10 教材、「書くこと」は 16 教材、「読むこと」は 15 教材であり、総ページ数は 310 ページで、前回と同じとなっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 5 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 15 教材、「読むこと」は 15 教材であり、総ページ数は 336 ページで、前回と同じとなっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 6 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 15 教材、「読むこと」は 14 教材であり、総ページ数は 326 ページで、前回より約 4% 減となっている。(判型は B 5 判)</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 夏休みの思い出について学級で発表し合う活動(第 1 学年)やお世話になった人などに礼状を書く活動(第 4 学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「読書の部屋」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のてびき」に学習のプロセスを示したり（全学年）、「〇年生をふり返って」で一年間の学びを振り返り今後の学習に生かせるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 上巻の巻頭に「見つける・見つめる」を掲載し、身の回りから語彙や出来事を書きためることができるようにしたり（第2～6学年）、ユニバーサルデザインに配慮し、文字の大きさ、書体、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、第2学年から第3学年では学校図書館の利用方法を、第4学年では地域の図書館の利用方法を、第6学年では目的に応じて博物館や資料館などの活用を促すなど、児童の発達段階や目的に応じて読書活動ができるように工夫がなされている。 ○ ICTの活用については、インターネットを活用したワークシートや補助資料等の学習コンテンツが全学年にあり、URL、QRコードが教科書に掲載されている。 ○ 小・中連携については、第6学年において、学年末に「六年生をふり返って」の単元を設定し、小学校で身に付けた力の確認と中学校への意欲化を図ることができるよう工夫がなされている。
本市児童の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を、その後の学習や生活で活用できるよう、単元の終末に、振り返りの観点や単元で身に付けさせたい言葉の力を示した「国語のカギ」が設定されている。 ○ 目的に応じて、複数の資料から必要な情報を取り上げて書く力を育むことができるよう、伝えたいことの根拠となる資料を自分で選んで提案するという言語活動等が設定されている。 ○ 文章を根拠にして、自分の考えをまとめる力を育むことができるよう、単元冒頭には、「単元名」と「めあて」で学習内容と学習目標を示すことで読む目的を明確にするとともに、思考の方法や流れを例や図で示す配慮がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙を豊かにし、表現力を高められるよう、巻末に、発達段階に応じた思考や表現の助けとなる語彙を整理した「言葉の部屋」が掲載されている。

観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語 105, 国語 106 国語 205, 国語 206 国語 305, 国語 306 国語 405, 国語 406 国語 505 国語 605	ひろがることばしょうがくこくご一上, 下 ひろがることば小学国語二上, 下 ひろがる言葉小学国語三上, 下 ひろがる言葉小学国語四上, 下 ひろがる言葉小学国語五上, 下 ひろがる言葉小学国語六上, 下
<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 民話や神話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表したりする活動や、言葉をかけられてうれしかった経験を紹介し合い、気持ちが伝わる言葉を考える活動</p> <p>第 3,4 学年～ 身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で読み書きしたり自分の名前をコンピュータを使ってローマ字入力したりする活動や、故事成語を集めて意味を調べカードにまとめる活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「春暁」「静夜思」などの漢文の響きを味わいながら読む活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 聞いたことをメモを使って正確に伝える活動やグループで話し合っって考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ メモを基に話の構成を考えて発表する活動や司会や提案者などの役割を決めて話し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 伝える目的に応じた資料を用いて発表する活動やパネルディスカッションを行う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ メモを基に見付けたことを書く活動や町探検で見付けたことを報告する文章を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 調べた生き物について説明する文章を書く活動や図表の効果を考えて新聞を作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 構成を考えてポスターを作る活動や書く分量や内容を工夫してパンフレットを作る活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 話の好きな場面を紹介する活動や生き物が成長する様子について写真を使い説明する活動を通して、日常生活における</p>				

	<p>人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 物語の面白いところをカードにまとめる活動や紹介したい本を選び発表する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 印象に残った本を推薦する活動や伝記を読み人物の生き方について考える活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と絵を合わせて読み身ぶりについて考えたり、考えたことを友達と読み合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 3,4 学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、段落の要点を整理したり、文章を読み分かったことを友達と交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「～よう（てびき）」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成に着目して論の進め方を整理したり、考えたことを友達と話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第 1,2 学年～ 第 1 学年で、夏休みの出来事を思い出しながら質問し合う活動、第 2 学年で、昔の遊びについて順序に気を付けて話す活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 3,4 学年～ 第 3 学年で、調べたことの中から中心にする内容を決めて報告文を書く活動、第 4 学年で、構成を考えて報告するリーフレットを作る活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 5,6 学年～ 第 5 学年で、根拠となる資料を用いて意見文を書く活動、第 6 学年で、理由や根拠を示して説得力のある意見文を書く活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 10 教材、「書くこと」は 14 教材、「読むこと」は 19 教材であり、総ページ数は 310 ページで、前回より約 9% 増となっている。（判型は B 5 判）</p> <p>第 2 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 10 教材、「書くこと」は 19 教材、「読むこと」は 15 教材であり、総ページ数は 324 ページで、前回より約 9% 増となっている。（判型は B 5 判）</p> <p>第 3 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 10 教材、「書くこと」は 25 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 320 ページで、前回より約 7% 増となっている。（判型は B 5 判）</p> <p>第 4 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 10 教材、「書くこと」は 23 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 342 ページで、前回より約 10% 増となっている。（判型は B 5 判）</p> <p>第 5 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 8 教材、「書くこと」は 24 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 332 ページで、前回より約 8% 増となっている。（判型は B 5 判）</p> <p>第 6 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 9 教材、「書くこと」は 21 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 336 ページで、前回より約 2% 増となっている。（判型は B 5 判）</p>

<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達に新しく知ったことを伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い他の学年の人たちに伝える新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「本を読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「～よう（てびき）」に学習の進め方を示したり（全学年）、「ここが大事」に汎用性のある学習のポイントを紹介したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 巻頭に「○年生で学ぶこと」を設け、学習内容を概観することができるようにしたり（全学年）、色覚などの特性を踏まえた判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、学びやすい紙面づくりに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、1年生「としょかんへいこう」から4年生「分類をもとに本を見つけよう」、5年生「図書すいせん会をしよう」など、各学年において図書館を利活用した学習ができるように工夫がなされている。 ○ ICTの活用については、インターネットを活用したワークシートや補助資料等の学習コンテンツが全学年にあり、URL、QRコードが教科書に掲載されている。 ○ 小・中連携については、第6学年において、学年末に「ひろがる言葉」の単元を設定し、小学校で身に付けた力の確認と中学校への意欲化を図ることができるように工夫がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を、その後の学習や生活で活用できるように、単元の終末に、振り返りの観点や単元で身に付けさせたい言葉の力を示した「ここが大切」が設定されている。 ○ 目的に応じて、複数の資料から必要な情報を取り上げて書く力が育まれるよう、発達段階に応じて、複数の観察記録や取材メモ、図鑑の情報などから情報を取り上げて、文章を書く活動が設定されている。 ○ 文章を根拠にして、自分の考えをまとめる力が育むことができるよう、単元の学習過程に「考えよう」「ふかめよう」「広げよう」を設定し、考えをまとめたり深めたりできるようにするとともに、思考の方法や流れを例や図で示す配慮がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙を豊かにし、表現力を高められるよう、巻末に「言葉の木」で発達段階に応じた語彙を掲載し、「ことばのまとめ」で身に付けるべき言葉が整理されているとともに、単元ごとに「言葉」「言葉を学ぼう」「言葉を増やそう」が設定されている。

観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標，内容 等	38・光村	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	国語 107, 国語 108 国語 207, 国語 208 国語 307, 国語 308 国語 407, 国語 408 国語 507 国語 607	こくご一上かざぐるま, こくご一下ともだち 国語二上たんぼぼ, 国語二下赤とんぼ 国語三上わかば, 国語三下あおぞら 国語四上かがやき, 国語四下はばたき 国語五銀河 国語六創造
				<p>○ [知識及び技能] の内容については，次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 昔話の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして面白いと思ったところを発表する活動や，観察したことを記録する文章を書き身近なことを表す語句の量を増し，文章の中で使う活動</p> <p>第 3,4 学年～ 日常生活で使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や，短歌や俳句をリズムを感じ取りながら音読する活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「竹取物語」「平家物語」などの古文をリズムを味わいながら音読する活動や，話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 身近なものについて問題を出し合う活動やあったらいいなと思うものを発表する活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 伝えたいことを理由を挙げて話す活動や司会や記録係などの役割を決めて話し合う活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 事実と意見を区別して提案する活動や議題を決めてグループごとに話し合う活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 書くことについては，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 生き物について報告する文章を書く活動やおもちゃの作り方を説明する文章を書く活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 仕事について報告する文章を書く活動や事実を分かりやすく伝える新聞を作る活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 事実と意見を区別して意見文を書く活動や構成を工夫してパンフレットを作る活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 読むことについては，次のような学習活動を取り上げ，目標を達成できるようになっている。</p> <p>第 1,2 学年～ 自動車について説明した文章をノートにまとめる活動や生き物が登場する文章を音読劇にしながら読む活動を通して，日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えをもつ。</p> <p>第 3,4 学年～ 場面を比べながら読み感じたことをまとめる活動や登場人物の変化を中心に読み物語の魅力を紹介する活動を通して，</p>

	<p>日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>第 5,6 学年～ 伝記を読み自分の生き方について考える活動や複数の文章を読み考えたことを交流する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第 1,2 学年～ 「がくしゅう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に書かれている内容を比べながら読んだり、本を読み分かったことを友達に知らせたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 3,4 学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中心となる語や文を確かめながら読んだり、文章を読んだ感想をグループで伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第 5,6 学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の表現や構成に注意して要旨をまとめたり、筆者の考えに対する自分の考えを発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第 1,2 学年～ 第 1 学年で、好きなものとその理由について話す活動、第 2 学年で、楽しかったことなどについて順序を考えて発表する活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 3,4 学年～ 第 3 学年で、事例を複数挙げながら説明する文章を書く活動、第 4 学年で、構成を考えて説明するリーフレットを作る活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第 5,6 学年～ 第 5 学年で、構成を工夫しスピーチをする活動、第 6 学年で、話し方や資料の提示の仕方などを工夫しスピーチをする活動を取り扱うなど、2 学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 13 教材、「書くこと」は 24 教材、「読むこと」は 17 教材であり、総ページ数は 268 ページで、前回より約 1% 減となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 2 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 6 教材、「書くこと」は 21 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 320 ページで、前回より約 16% 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 3 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 21 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 320 ページで、前回より約 10% 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 4 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 18 教材、「読むこと」は 14 教材であり、総ページ数は 324 ページで、前回より約 9% 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 5 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 17 教材、「読むこと」は 12 教材であり、総ページ数は 296 ページで、前回より約 4% 増となっている。(判型は B 5 判)</p> <p>第 6 学年～ 「話すこと・聞くこと」は 5 教材、「書くこと」は 17 教材、「読むこと」は 13 教材であり、総ページ数は 310 ページで、前回より約 9% 増となっている。(判型は B 5 判)</p>
<p>使用上の</p>	<p>○ 家の人に学校にいる生き物などを知らせる活動(第 1 学年)やアンケート調査などを行いグループで新聞を作る活動(第 4 学年)を通して、相手</p>

<p>配慮等</p>	<p>意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を「本は友達」に掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習」で読みの学習過程を明示したり（第2～6学年）、「学習の進め方」で明確な見通しをもって学ぶことができるようにしたり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の付録に「学習を広げよう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用できるようにしたり（第2～6学年）、図書紹介のページのように文字がやや小さい教材には、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、第2学年から第5学年では学校図書館の利用方法を段階的に学ぶことができ、第6学年では地域の図書館や文学館、博物館・資料館などの活用を促すなど、児童の読書活動が広がるように工夫がなされている。</p> <p>○ ICTの活用については、インターネットを活用した話し合い方のモデルや音声教材等の学習コンテンツが全学年にあり、URL、QRコードが教科書に掲載されており、児童がインターネットを活用して主体的に活用できるように配慮がなされている。</p> <p>○ 小・中連携については、第6学年において、学年末に「卒業する皆さんへ」の単元を設定し、各領域で身に付けた力を記述することにより小学校で身に付けた力の確認と中学校への意欲化を図ることができるよう工夫がなされているとともに、第5学年と第6学年は、学年1冊の教科書となり、中学校入学時の環境の変化へ対応できるように配慮がなされている。</p>
<p>本市児童の学習の状況等</p>	<p>○ 児童が単元の学習で身に付けた言葉の力を、その後の学習や生活で活用できるように、単元の終末に「ふりかえろう」、「たいせつ」を設定し、学習で身に付いた力を自覚したり、学んだことを他教科・他領域に活用できる場面を「いかそう」として例示したりするなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 目的に応じて、複数の資料から必要な情報を取り上げて書く力を育むことができるよう、グラフや表など、複数の資料から必要な情報を取り出して文章を書く活動が設定されるとともに、資料の読み方や調べ方、情報の使い方などを学ぶ「情報」が系統的に位置付けられ、表現する際に活用できるように工夫がなされている。</p> <p>○ 文章を根拠にして、自分の考えをまとめる力を育むことができるよう、単元冒頭の「単元の扉」で読む目的を明確にし、単元の学習過程に「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設定するとともに、思考の方法や流れを例や図で示す配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 語彙を豊かにし、表現力を高められるよう、巻末に、発達段階に応じた思考や表現の助けとなる語彙が「考えや気持ちをつたえることば」として掲載されている。</p>